

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

代表者名

鈴木雅子

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動報告書

令和 5 年 3 月 24 日提出

活動年月日	令和 4 年 10 月 12 日 (水) ~ 10 月 13 日 (木)	
氏名	鈴木雅子	
用務先 及び 内 容	1	用務先 神奈川県 小田原市
	10月12日	内 容 耕作放棄地の保全・再生及びソーラーシェアリングについて
	2	用務先 神奈川県 座間市
	10月12日	内 容 生活困窮者支援の取組について
	3	用務先 東京都 東村山市
	10月13日	内 容 議会報告会について
	4	用務先
	月 日	内 容
備 考		



小田原市 かなごてファーム ソーラーシェアリング

10月14日、神奈川県にある「かなごてファーム」に視察に行きました。太陽光発電の施設の下で農業を営むソーラーシェアリングを行っています。小山田社長（11日の「とことん日本共産党」に出演）に直接話を聞くことが出来ました。

東日本大震災がきっかけで、日本のエネルギーは原発に頼ってはいけないと実感したとのこと。今ソーラーシェアリングは4機あり、5機目を準備しているところとのことでした。パネルの下でも、イネや野菜は十分育つし、夏の暑いときは逆に日影ができて作業がしやすいとのこと。発電した電気を使ってカフェを営業、パネルの下で育った野菜もカフェで提供しています。電気と野菜の地産地消の実現です。

未来の子どもに原発のない世の中を

小山田社長は郵便局の職員から転職。「誰もやらないなら、自分からやってみる。自分のためではなく、未来の子どもたちのため」というところに本当に感心しました。再生可能エネルギーと農業は、どちらも喫緊の課題です。そのためにはソーラーシェアリングは有効な手段の1つだと感じました。

東村山市 議会報告

東村山市は人口約15万人、面積17・14キロ平米の市で、面積は、清須市や知立市と同程度、人口は刈谷市と同じ規模です。市の鳥はハクセキレイで岡崎市と同じです。

東村山市では議会報告会を年4回開催しています。特徴としては議会基本条例第5条で年4回開催することを規定しているという点です。定例会のあとの5月、8月、11月、2月に議会報告会を開催しています。運営は全議員で行う。所管は広報公聴委員会ということ。内容は定例会の概要に関する報告。議会活動、市政に関する報告及び意見交換など。時間は2時間で前半は報告、後半は意見交換等。その場で出た意見は課題・成果等を議長に報告し、さらには市議会ホームページなどで公表しています。印象的だったのは議員の方々が多くの作業をこなしていたことです。議会報告会のチラシを駅前配布したり、コロナ禍でオンラインの開催になった際も議員の方々が機械を調達したり、設定するなど、議会報告会への準備をしていました。どのようにしたら多くの市民の方が参加できるのか？を常に考えてトライ&エラーを繰り返しています。

開かれた議会を実現するには議会報告会は有効な方法の1つだと感じました。日本共産党岡崎市議団は毎年議長に対し、

「市政報告会」の開催を要望しています。

座間市 断らない相談

座間市は人口 13 万人、面積 17・57 キロ平米の市で、面積は、知立市と同程度、人口は 2 倍です。

朝日新聞社から「誰も断らない」という書籍が出版されています。

なぜ、断らない相談ができるか、という理由は、「担当課だけで全てを解決しようとせず、全庁で意識を高め、連携していること」と感じました。岡崎市でもたとえば納税相談にきた方を福祉や、就労の支援につなげることがありますが、座間市では、全庁を挙げて日常的に、「市民と接したときに表情や態度格好から抱えている問題に気づき必要な支援につなげよう」という意識の醸成が行われています。

支援調整会議には、他団体、県、NPOなどが参加。市からは 17 課が入っています。

また、直接相談を受ける自立サポート担当は、正規職員が 2 名、非正規職員が 6 名の体制です。「市民生活の課題の最前線を職員が受け止めて、認識することが大切」というスタンスです。

岡崎市のふくし総合相談窓口も多くの相談を受けていますが、愛恵協会、社会福祉協議会、包括支援センターなどの他団体に依拠しています。周りの力を借りながら、直接受け止めるのは「職員」となるよう、党市議団は、ふくし相談窓口での職員の体制強化を提案しています。